

樺太モ亦タ日本ノ領地ニテ千島ノ一部ハ露人之ニ住セリ、徳川氏ノ代ニ至リテ露人數ト樺太ヲ犯ス、明治八年政府露國ト議シテ樺太ト千島ノ一部ト交換シ、千島全島ヲ一國トナシ、蝦夷ノ十國ト共ニ北海道ニ編入シテ大ニ開拓セシム、

明治廿諸學校入學試驗問題  
四年度

- (一) 日本武尊ノ東征如何 (陸軍士官候補生試驗問題)
- (二) 一ノ谷ノ戰如何 (全)
- (三) 關原戰如何 (陸軍幼年學校生徒試驗問題)
- (四) 秀吉卻明冊命 (全)
- (五) 藤原氏ノ功勞大ナルモノヲ列舉セヨ (第一高等中學校入學試驗問題)
- (六) 左ノ事實ハ何天皇ノ何年ニアルカ或ハ神武紀元ノ何年ニシリシカ (全)
  - イ、漢籍ノ傳來
  - ロ、大寶令ノ制定
  - ハ、平民ノ滅亡
  - ニ、承久ノ難

ホ、關原ノ戰爭

- (七) 神功皇后ノ三韓征服ハ我邦ニ如何ナル利害ヲ及ボセシヤ (郵便電信學校入學試驗問題)
- (八) 佛教傳來以來今日ニ至ルノ間其盛衰ノ狀況如何 [全]
- (九) 保元ノ亂ノ原因及ビ結果ハ如何 [全]
- (一〇) 徳川氏カ諸侯ヲ鎮壓セシ政策ハ如何 [全]
- (一一) 天智帝ノ三韓ヲ度外ニ抛擲シタリシ所以如何 [高等商業學校入學試驗問題]
- (一二) 鎌倉武門政府ノ組織ヲ明述セヨ [全]
- (一三) 徳川家康ハ文學ニ對シ如何ナル獎勵ヲ與ヘシヤ [全]
- (一四) 足利氏以來自國ノ貨幣始メテ民間ニ通用セシハ何人ノ時ナルヤ [全主計]
- (一五) 耶蘇教ノ我國ニ入り來リシハ西洋紀元何年ニシテ其宗派ノ名稱如何 [全]
- (一六) 安政ノ獄トハ何ゾ [全]
- (一七) 封建ト郡縣トノ別ハ如何 [全]
- (一八) 寶龜延曆ノ治世如何
- (一九) 桓武天皇都遷ノ原因如何

- (二〇) 正成ノ智計如何
- (二一) 護良親王ノ性行如何
- (二二) 大江廣元ノ治安策トハ何ソヤ
- (二三) 源實朝ノ人ト爲リヲ問フ
- (二四) 北條氏ノ治世如何
- (二五) 鎌倉滅亡ノ始末如何
- (二六) 平氏滅亡ノ始末如何
- (二七) 三韓征伐ノ始末如何
- (二八) 織田信長ノ人ト爲リヲ問フ
- (二九) 江戸開府ノ起原ヲ問フ
- (三〇) 新井白石ハ如何ナル人ナリヤ
- (三一) 徳川氏文學ノ隆盛ハ何時代ナリヤ
- (三二) 尊王攘夷論ノ起リハ如何
- (三三) 幕府大政奉還ノ始末ヲ問フ
- (三四) 臺灣征伐ノ始末如何

- (三五) 鳥羽伏水ノ戰トハ何ソヤ
- (三六) 函館ノ役ハ如何
- (三七) 彰義隊トハ何ソヤ
- (三八) 維新功臣ノ人名ヲ問フ
- (三九) 維新後農業ノ發達如何
- (四〇) 同商業ノ發達如何
- (四一) 同工業ノ發達如何
- (四二) 同美術ノ發達如何
- (四三) 同文學ノ發達如何
- (四四) 同宗教ノ發達如何
- (四五) 同風俗ノ變遷如何
- (四六) 同政治ノ變遷如何
- (四七) 運輸交通ノ沿革ヲ問フ
- (四八) 郵便電信ノ沿革ヲ問フ
- (四九) 諸官省ノ沿革如何

- (五〇) 締盟各國ノ國名如何
- (五一) 全國ノ戶數人員ヲ問フ
- (五二) 國庫ノ歲入出ヲ比較セヨ
- (五三) 外國貿易ノ沿革ヲ問フ
- (五四) 流通紙幣高ヲ問フ
- (五五) 貨幣鑄造高ヲ問フ
- (五六) 本邦著名ノ神社佛閣ヲ問フ
- (五七) 本邦神代以來ノ宮社ヲ問フ

## 附錄 重要國事年代史

内山正如編輯

- (一) 神武天皇征東ノ師ヲ起シ王フ年代  
謂ク紀元前七年甲寅ノ年ナリ、西曆紀元前六百六十七年ニ當ル
- (二) 神武天皇大和ニ於テ長髓彦ト戰ヒ玉フ年代  
謂ク前年代ヨリ五年後ニテ即チ戊午ノ年ナリ
- (三) 神武天皇御即位ノ年代  
謂ク我國此年ヲ以テ紀元第一年トス、(明治五年之ヲ定ム)即チ元年辛酉正月朔、位ニ橿原ノ宮ニ即キ玉フ、西曆紀元前六百六十年、支那周惠王ノ十七年ニ當ル、今ヲ距ル<sub>一</sub>實ニ二千五百五十二年前トス
- (四) 皇祖天神ヲ鳥見山ニ祭ラレシ年代  
謂ク神武天皇四年ニシテ西曆紀元前六百五十七年ニ當ル
- (五) 綏靖天皇遷居ノ年代  
年ヲ今ヲ距ル<sub>一</sub>二千四百七十一年前ニシテ元年居ヲ葛城高丘宮ニ遷シ玉フ

- (六) 神器ヲ大和ニ遷セシ年代  
年ク崇神天皇六年ニ神器ヲ大和笠縫邑ニ遷シ天祖ヲ祭り玉フ、西暦紀元前九十二年ニ當ル
- (七) 始メテ四道將軍ヲ置キシ年代  
謂ク同帝十年ニシテ今ヲ距ルコト千九百九十七年前ナリ
- (八) 任那國ノ始メテ入貢セシ年代  
謂ク同帝六十五年ニシテ今ヲ距ルコト千九百二十二年前ナリ
- (九) 狹穗彥謀反伏誅ノ年代  
謂ク垂仁帝五年ニシテ今ヲ距ルコト千九百十四年前ナリ、西暦紀元前二十五年ニ當ル
- (一〇) 宗廟ヲ伊勢度會ニ遷セシ年代  
謂ク同帝二十五年ニシテ西暦紀元前五年ニ當ル
- (一一) 詔シテ殉死ヲ禁シ玉フ年代  
謂ク同帝二十八今年ヲ距ルコト千八百八十一年前ナリ
- (一二) 筑紫熊襲ノ反ノ年代  
謂ク景行天皇十二年ニシテ天皇之ヲ親征在マス、西暦紀元八十二年ニ當ル

- (一三) 西洋紀元第一年ハ我國ノ何帝ノ時ニ當ルヤ  
謂ク垂仁天皇三十年ニシテ、支那漢平帝元始元年ニ當ル
- (一四) 武内宿禰東北巡察ノ年代  
謂ク景行天皇二十五年今ヲ距ルコト千七百五十年前ナリ
- (一五) 日本武尊筑紫征伐ノ年代  
謂ク同帝二十七年今ヲ距ルコト千七百八年前ナリ
- (一六) 日本武尊東夷征伐ノ年代  
謂ク同帝四十三年ニシテ西暦百十三年ニ當ル
- (一七) 武内宿禰大臣ト爲年代  
謂ク成務天皇三年ニシテ西暦百三十一年ニ當ル
- (一八) 神功皇后三韓征伐ノ年代  
謂ク仲哀天皇九年今ヲ距ルコト千六百九十一年、西暦二百年ニ當ル
- (一九) 百濟ヨリ王仁來朝ノ年代  
謂ク應神天皇十六年ニシテ距今千六百五年前ナリ
- (二〇) 始メテ琴ヲ作リシ年代

謂ク應神天皇三十一年始メテ琴ヲ作ル

(二) 難波遷都ノ年代

謂ク仁德天皇元年位ニ難波ニ即キ玉フ、西曆三百十三年ニ當ル

(三) 始メテ氷室ヲ置クノ年代

謂ク仁德天皇六十二年ニシテ距今千五百十六年前ナリ

(三三) 武内宿禰薨去ノ年代

謂ク同帝七十八年ニシテ距今千五百年前ナリ、西曆三百九十年ニ當ル

(三四) 始メテ吏官ヲ置テ四方志ヲ通セシ年代

謂ク履仲天皇四年ニシテ今距千四百八十七年前ナリ

(三五) 始メテ姓氏ヲ定メシ年代

謂ク允恭天皇四年ニシテ今距千四百七十五年前ナリ

(三六) 仁賢天皇御即位ノ年代

謂ク距今千四百三年前ニシテ西曆四百八十八年ニ當ル

(三七) 欽明天皇御即位ノ年代

謂ク距今千三百五十二年前ニシテ西曆五百四十年ニ當ル

(三六) 佛法渡來ノ年代

謂ク欽明天皇十三年ニシテ距今千百三年九十前ナリ

(三九) 始メテ冠位十二階ヲ定メシ年代

謂ク推古天皇十一年ニシテ西曆六百三年ニ當ル

(三〇) 蘇我入鹿ヲ誅伏セシ時代

謂ク孝德天皇大化元年ニシテ距今千二百四十六年前ナリ

(三一) 始メテ漏刻ヲ造リシ年代

謂ク齊明天皇六年ニシテ距今千二百三十年前ナリ

(三二) 藤原鎌足薨去ノ年代

謂ク天智天皇二年ニシテ距今千二百二十八年前ナリ

(三三) 始メテ占星臺ヲ建テシ時代

謂ク天武天皇二年ニシテ西曆六百七十五年ニ當ル

(三四) 始メテ鑄錢司ヲ置キシ時代

謂ク持統天皇五年ニシテ西曆六百九十四年ニ當ル

(三五) 役小角ヲ伊豆ニ流セシ年代

謂ク文武天皇三年ニシテ距今千九百九十一年前ナリ

(三六) 始メテ律令ヲ撰ヒシ年代

謂ク同帝四年ナリ

(三七) 新律度量ヲ領チシ時代

謂ク大寶二年ニシテ西曆七百二十年ニ當ル

(三八) 始メテ諸國ノ風土記ヲ作リシ時代

謂ク元明天皇和銅六年ニシテ西曆七百十二年ニ當ル

(三九) 人丸卒去ノ年代

謂ク聖武天皇天平元年ニシテ西曆七百二十九年ニ當ル

(四〇) 遣唐使吉備眞備等歸朝セシ年代

謂ク天平勝寶六年ニシテ距今千百三十六年前ナリ

(四一) 孝謙天皇重祚ノ年代

謂ク距今千百二十六年前ニシテ西曆七百六十五年ニ當ル

(四二) 阿部仲麿唐ニ死セシ年代

謂ク光仁天皇寶龜元年ニシテ、支那ノ唐德宗建中三年ニ當ル

(四三) 山城遷都ノ年代

謂ク桓武天皇延暦十三年都ヲ山城ニ遷シ、平安城ト曰フ、距今千九百九十七年前トス、西曆七百九十四年ニ當ル

(四四) 坂上田村麿征夷大將軍ト爲ル年代

謂ク同延暦十六年ナリ

(四五) 和氣清麿薨去ノ年代

謂ク同延暦十八年ニシテ西曆七百九十九年ニ當ル

(四六) 諸國ニ茶ヲ植ヘシメタル年代

謂ク嵯峨天皇弘仁六年ニシテ西曆八百十六年ニ當ル

(四七) 空海入寂ノ年代

謂ク仁明天皇承和二年ニシテ西曆八百三十四年ニ當ル

(四八) 小野篁卒去ノ年代

謂ク文徳天皇仁壽二年トス

(四九) 藤原基經廢帝ノ年代

謂ク陽成天皇元慶八年ニシテ西曆八百八十四年ニ當ル

- (五〇) 菅原道真薨去ノ年代  
謂ク醍醐天皇延喜三年ニシテ距今百九十年前ナリ
- (五一) 三善清行上封事ノ年代  
謂ク同延喜十四年トス
- (五二) 平將門伏誅ノ年代  
謂ク朱雀天皇天慶三年ニシテ距今九百五十一年前ナリ
- (五三) 源滿仲卒去ノ年代  
謂ク一條天皇長徳三年ニシテ西曆九百九十七年ニ當ル
- (五四) 安倍晴明卒去ノ年代  
謂ク一條天皇寛弘二年ニシテ西曆千五年ニ當ル
- (五五) 前九年役ノ年代  
謂ク後冷泉天皇康平五年ニ之ヲ平ク距今八百四十年前ナリ
- (五六) 始メテ沽債斗舛ノ法ヲ定メシ年代  
謂ク後三條天皇延久四年ニ始メテ之ヲ定ム
- (五七) 後三年役ノ年代

- 謂ク堀河天皇寛治五年之ヲ平ク前役ヲ距ルコト三十六年ナリ
- (五八) 始メテ北面ノ士ヲ置キシ年代  
謂ク同帝ニ嘉保二年ニ始メテ之ヲ置ク
- (五九) 義家卒去ノ年代  
謂ク鳥羽天皇天仁元年ニ卒ス西曆千八百年ニ當ル
- (六〇) 保元ノ亂ノ年代  
謂ク距今七百三十五年前ニシテ西曆千百五十七年ニ當ル
- (六一) 平治ノ亂ノ年代  
謂ク距今七百三十一年前ニシテ西曆千百五十九年ニ當ル、即チ二皇天條平治元年ノ亂ナリ
- (六二) 頼朝義仲舉兵ノ年代  
謂ク高倉天皇治承四年ニシテ距今七百五十年前ナリ
- (六三) 平清盛薨去ノ年代  
謂ク安徳天皇養和元年西曆千八百八十一年ニ當ル
- (六四) 義經平氏ヲ檀浦ニ滅セシ年代

謂ク同帝壽永四年ニシテ西曆千八百八十五年ニ當ル

(六五) 源頼朝惣追捕使トナリシ年代

謂ク後鳥羽天皇文治二年距今七百五十年前ナリ

(六六) 同征夷大將軍ヲ拜セシ年代

謂ク同建久三年ニシテ西曆千八百八十八年ニ當ル

(六七) 同頼朝薨去ノ年代

謂ク土御門天皇正治元年ニ薨ス距今六百九十二年ナリ

(六八) 北條義時鎌倉ノ執權ト爲ル年代

謂ク土御門天皇元久二年ニシテ西曆千二百五十年ニ當ル

(六九) 北條時政卒去ノ年代

謂ク順徳天皇建保三年ニシテ距今六百七十七年前ナリ

(七〇) 義時ノ兵京師ヲ侵セシ年代

謂ク同帝承久三年ニシテ西曆千二百二十一年ニ當ル

(七一) 承久ノ變ノ年代

謂ク距今六百七十年前ニシテ即チ仲恭天皇即位ノ年ナリ

(七二) 北條時頼執權ノ年代

謂ク後嵯峨天皇寛元四年ニシテ距今六百四十五年前ナリ

(七三) 北條時宗執權ノ年代

謂ク龜山天皇弘長元年ニシテ距今六百三十一年前ナリ

(七四) 僧親鸞入寂ノ年代

謂ク同帝弘長二年ニシテ距今六百三十一年前ナリ

(七五) 弘安ノ役ノ年代

謂ク後宇多天皇弘安四年ニ元兵大舉入寇ス、距今六百十年前西曆一千二百八十一年ニ當ル

(七六) 僧日蓮入寂ノ年代

謂ク同帝弘安五年ナリ

(七七) 北條高時執權ノ年代

謂ク花園天皇正和元年ニシテ西曆千三百十二年ニ當ル

(七八) 後醍醐天皇御即位ノ年代

謂ク距今五百七十二年前ナリ、西曆千三百二十七年ニ當ル



(七九) 鎌倉滅亡年代

謂ク醍醐天皇元弘三年ナリ西暦千三百三十三年ニ當ル

(八〇) 楠木正成戦死ノ年代

謂ク同帝延元元年ニシテ距今五百五十四年前ナリ

(八一) 新田義貞戦死ノ年代

謂ク正成戦死ノ翌々年即チ延元二年ニ死ス

(八二) 足利尊氏ノ反セシ年代

謂ク同帝建武二十年ニシテ距今五百五十年前ナリ

(八三) 南北朝分立ノ年代

謂ク距今五百五十年前ニシテ西暦千三百三十七年ニ當ル

(八四) 楠木正行戦死ノ年代

謂ク後村上天皇正平四年ニシテ西暦千三百四十九年ニ當ル

(八五) 室町執權ノ年代

謂ク今距四百九十五年前ニ府ヲ室町ニ開ク

(八六) 南北兩朝一統ノ年代

謂ク後龜山天皇元中九年ニシテ西暦千三百八十四年ニ當ル

(八七) 應仁ノ亂ノ年代

謂ク後土御門天皇應仁元年京師大ニ亂ル距今四百二十八年前ナリ

(八八) 甲越川中島ノ役ノ年代

謂ク正親町天皇永祿四年ニシテ距今三百二十九年前ナリ西暦千五百六十一年ニ當ル

(八九) 織田信長覇業ノ年代及薨去ノ年代

謂ク信長覇業ヲ起セシハ距今三百二十二年前ニシテ光秀ノ爲メニ弑セラレシハ後陽成天皇天正十年ナリ

(九〇) 秀吉關白ト爲リシ年代

謂ク後陽成天皇天正十四年ニシテ西暦千五百八十六年ニ當ル

(九一) 秀吉征韓ノ年代

謂ク同帝文祿元年ニシテ距今二百九十九年前ナリ、西暦千五百九十二年ニ當ル

(九二) 秀吉薨去ノ年代

謂ク同帝慶長二年ニ薨ス

(九三) 關原役ノ年代

謂ク後陽成天皇慶長五年ニ此役アリ距今二百九十二年前ナリ

(九四) 徳川家康將軍ト爲リシ年代

謂ク同帝慶長八年ニシテ西曆千六百三年ニ當ル

(九五) 豊臣氏滅亡ノ年代

謂ク後水尾天皇元和元年西曆千六百十五年ニ當ル

(九六) 藤原惺窩卒去ノ年代

謂ク同帝元和五年ニ卒ス

(九七) 家光將軍トナリシ年代

謂ク同九年西曆千六百二十三年ニ當ル

(九八) 明正天皇ノ朝ノ年代

謂ク距今二百六十一年前西曆千六百三十年ニ當ル

(九九) 島原ノ亂ノ年代

謂ク明正天皇寛永十四年ニシテ距今二百五十三年前

(一〇〇) 寛永錢鑄造ノ年代

謂ク寛永十三年ニ之ヲ鑄ル距今二百五十四年前

(一〇一) 玉川水道ノ年代

謂ク後光明天皇承應貳年ニ成ル

(一〇二) 布帛ノ丈尺ヲ定メシ年代

謂ク靈元天皇寛文五年ニ之ヲ定ム距今貳百二十六年前ナリ、西曆千六百六十五年ニ當ル

(一〇三) 輿地圖ノ始メテ成リシ年代

謂ク東山天皇元祿九年ニ或ル、距今百九十五年前ナリ

(一〇四) 水戸義公薨去ノ年代

謂ク同帝元祿十三年ニ薨ス

(一〇五) 大石良雄等賜死ノ年代

謂ク同帝元祿十六年ニ死ヲ賜フ、其報仇セシハ十四年ナリ

(一〇六) 大日本史ノ成リシ年代

謂ク中御門天皇正徳五年ニ成ル西曆千七百十五年ニ當ル

(一〇七) 群書類從ノ成リシ年代

謂ク光格天皇天明二年ニ成ル西曆千七百八十年ニ當ル

(一〇八) 魯國使節長崎ニ來リシ年代

謂ク同帝文化元年ニシテ西曆千八百四年ニ當ル

(二〇九) 大鹽平八郎作亂ノ年代

謂ク天保八年ニシテ距今五十六年前ナリ

(二一〇) 米船浦賀ニ來リシ年代

謂ク仁孝天皇弘化二年ニシテ距今四十八年前ナリ西曆千八百四十五年ニ當ル

(二一一) 蕃書調所ノ成リシ年代

謂ク孝明天皇安政四年ニシテ距今三十六年前ナリ西曆千八百五十七年ニ當ル

(二一二) 徳川慶喜將軍トナリシ年代

謂ク慶應二年ニシテ距今二十七年前ナリ

(二一三) 孝明天皇御即位ノ年代

謂ク嘉永元年孝明天皇即位シ玉フ、即チ西曆一千八百四十七年ニ當ル

(二一四) 江戸大地震ノ年代

謂ク安政二年江戸大地震アリ、死傷算ナシ

(二一五) 横濱開港ノ年代

謂ク萬延元年去年横濱港ヲ開ク

(二一六) 和宮釐降ノ年代

謂ク文久元年和宮内親王關東ニ嫁シ玉フ

(二一七) 始メテ京都守護職ヲ置キシ年代

謂ク同三年始メテ其職ヲ置ク西曆一千八百六十三年ナリ

(二一八) 長府長州征伐ノ年代

謂ク慶應元年幕府長藩ヲ伐ツ、距今二十八年前ナリ

(二一九) 兵庫開港年代

謂ク同三年開港シテ貿易ヲ許ス

(二二〇) 王政復古ノ年月

謂ク明治元年一月王政復古ノ詔ヲ發シ玉フ西曆千八百六十六年トス

(二二一) 京濱間ノ鐵道ノ成リシ年月

謂ク明治五年九月東京横濱間ノ鐵道始メテ成ル

(二二二) 台灣制伐ノ年月

謂ク明治七年二月ナリ西曆一千八百七十四年ニ當ル

(二二三) 西南ノ役ノ起リシ年月

謂ク同十月西郷隆盛等兵ヲ鹿兒島ニ起シ撃テ之ヲ平ク、一千八百七十七年ナリ

(二四) 日本銀行始設ノ年代

謂ク明治十六年ニ始メテ之ヲ設ク

(二五) 總理大臣ヲ置クノ年月

謂ク明治十八年十二月内閣組織ヲ改メ伊藤博文ヲ總理大臣ニ任ス

(二六) 天津條約ヲ結ヒシ年月

謂ク同十八年ニ日清交渉事件アリ清國ト條約ヲ結ブ

(二七) 磐梯山噴火ノ年月

謂ク明治廿一年岩代ノ磐梯山破裂シテ死傷算ナシ

(二八) 憲法發布ノ年月

謂ク明治二十二年二月十一日憲法ヲ發布シ玉フ、神武天皇御即位ヨリ二千五百四十九年後ナリ西曆千八百八十九年ニ當ル

受驗 問答 日本歴史一千題畢

明治二十五年八月五日印刷  
明治二十五年八月八日出版

正價金拾二錢

編輯者兼 野口竹次郎

日本橋區本石町一丁目九番地

印刷者 淺尾德太郎

日本橋區上横町十六番地

版權所有

東京日本橋區本石町三丁目

發兌書林 博文館

# 通俗教育全書

全部五十册 一冊紙數二百頁以上  
總紙數壹萬頁以上  
每編讀切洋裝美本

正價 一冊金拾二錢 ● 六冊前金六拾七錢 ● 十二冊前金一圓廿五錢 ● 廿四冊前金二圓四十五錢 ● 郵稅一冊一錢五厘 ● 卅二編ヨリ郵稅一冊四錢

## 目科書本

- |              |             |            |
|--------------|-------------|------------|
| 第一編 幼稚園      | 第拾八編 泰西近古史談 | 第卅五編 單級教授法 |
| 第二編 尋常小學     | 第拾九編 作文新書   | 第卅六編 簡易體操法 |
| 第三編 高等小學     | 第廿編 動物學     | 第卅七編 化學史   |
| 第四編 女學校      | 第廿一編 小論     | 第卅八編 歷史    |
| 第五編 商業學校     | 第廿二編 小論     | 第卅九編 代數    |
| 第六編 工業學校     | 第廿三編 小論     | 第卅編 幾何     |
| 第七編 日本歷史     | 第廿四編 小論     | 第卅一編 代數    |
| 第八編 支那歷史     | 第廿五編 小論     | 第卅二編 幾何    |
| 第九編 萬國本國小史   | 第廿六編 小論     | 第卅三編 代數    |
| 第十編 萬國本國小史   | 第廿七編 小論     | 第卅四編 幾何    |
| 第十一編 萬國本國小史  | 第廿八編 小論     | 第卅五編 代數    |
| 第十二編 萬國本國小史  | 第廿九編 小論     | 第卅六編 幾何    |
| 第十三編 萬國本國小史  | 第卅編 小論      | 第卅七編 代數    |
| 第十四編 萬國本國小史  | 第卅一編 小論     | 第卅八編 幾何    |
| 第十五編 萬國本國小史  | 第卅二編 小論     | 第卅九編 代數    |
| 第十六編 萬國本國小史  | 第卅三編 小論     | 第卅編 幾何     |
| 第十七編 萬國本國小史  | 第卅四編 小論     | 第卅一編 代數    |
| 第十八編 萬國本國小史  | 第卅五編 小論     | 第卅二編 幾何    |
| 第十九編 萬國本國小史  | 第卅六編 小論     | 第卅三編 代數    |
| 第二十編 萬國本國小史  | 第卅七編 小論     | 第卅四編 幾何    |
| 第二十一編 萬國本國小史 | 第卅八編 小論     | 第卅五編 代數    |
| 第二十二編 萬國本國小史 | 第卅九編 小論     | 第卅六編 幾何    |
| 第二十三編 萬國本國小史 | 第卅編 小論      | 第卅七編 代數    |
| 第二十四編 萬國本國小史 | 第卅一編 小論     | 第卅八編 幾何    |
| 第二十五編 萬國本國小史 | 第卅二編 小論     | 第卅九編 代數    |
| 第二十六編 萬國本國小史 | 第卅三編 小論     | 第卅編 幾何     |
| 第二十七編 萬國本國小史 | 第卅四編 小論     | 第卅一編 代數    |
| 第二十八編 萬國本國小史 | 第卅五編 小論     | 第卅二編 幾何    |
| 第二十九編 萬國本國小史 | 第卅六編 小論     | 第卅三編 代數    |
| 第三十編 萬國本國小史  | 第卅七編 小論     | 第卅四編 幾何    |
| 第三十一編 萬國本國小史 | 第卅八編 小論     | 第卅五編 代數    |
| 第三十二編 萬國本國小史 | 第卅九編 小論     | 第卅六編 幾何    |
| 第三十三編 萬國本國小史 | 第卅編 小論      | 第卅七編 代數    |
| 第三十四編 萬國本國小史 | 第卅一編 小論     | 第卅八編 幾何    |
| 第三十五編 萬國本國小史 | 第卅二編 小論     | 第卅九編 代數    |
| 第三十六編 萬國本國小史 | 第卅三編 小論     | 第卅編 幾何     |
| 第三十七編 萬國本國小史 | 第卅四編 小論     | 第卅一編 代數    |
| 第三十八編 萬國本國小史 | 第卅五編 小論     | 第卅二編 幾何    |
| 第三十九編 萬國本國小史 | 第卅六編 小論     | 第卅三編 代數    |
| 第四十編 萬國本國小史  | 第卅七編 小論     | 第卅四編 幾何    |
| 第四十一編 萬國本國小史 | 第卅八編 小論     | 第卅五編 代數    |
| 第四十二編 萬國本國小史 | 第卅九編 小論     | 第卅六編 幾何    |
| 第四十三編 萬國本國小史 | 第卅編 小論      | 第卅七編 代數    |
| 第四十四編 萬國本國小史 | 第卅一編 小論     | 第卅八編 幾何    |
| 第四十五編 萬國本國小史 | 第卅二編 小論     | 第卅九編 代數    |
| 第四十六編 萬國本國小史 | 第卅三編 小論     | 第卅編 幾何     |
| 第四十七編 萬國本國小史 | 第卅四編 小論     | 第卅一編 代數    |
| 第四十八編 萬國本國小史 | 第卅五編 小論     | 第卅二編 幾何    |
| 第四十九編 萬國本國小史 | 第卅六編 小論     | 第卅三編 代數    |
| 第五十編 萬國本國小史  | 第卅七編 小論     | 第卅四編 幾何    |

栗田寛先生校閱 國學院講師今泉定介君著

## 初等日本歴史

全二冊和裝密書入美本 正價廿錢郵稅四錢

栗田寛先生校閱 第一高等中學校講師増田子信君著

## 高等日本歴史

全一冊洋裝密書入美本 正價五拾錢郵稅十四錢

國體の概要を知らしめ國民たるの志操を養ふは歴史教授の本領にして教則大綱の明示する所なり本書亦此趣旨に依り歴代天皇の偉業英雄賢相の美勳偉行等前後三千年縱横六十餘州の間に其盛衰興亡の變態情景を描寫し細書し盡して餘す所なく其編纂法の如きは結合穩活歴代天皇の即位年代を簡叙し暗に卷中の人物事蹟と相映照せしめ通讀一過年代と人物の關係を明晰ならしむ加ふるに水戸の碩學先生栗田翁の校訂あり事實精確材料豊富なる日本の歴史的良本なり

秦政治郎先生著

## 日本帝國歴史

全一冊洋裝美本 正價金三拾錢郵稅八錢

本書は曾て文部省に於て募集したる日本歴史にして各審査委員が檢閲して秀逸の證を與へられたる者の一なれば其編纂の如きは在來の歴史と其科を異にし大よ一生涯を開けり先づ總論に於ては日本國上古より近代に至る概畧の沿革を述べ漸次進んで政體を叙し地理を記し風俗を述べ制度等を論じて以て豫しめ日本帝國の大勢變化を知らしめ更に進んで年代を逐ひ各朝政體の變遷英雄巨人の偉行治亂興亡の原因衣服宴安の流行等を叙す秩序井然記事精確要を摘み概を抜き而して此等の事實を一串するに年代を以て實に近來出色の好歴史として又教育に適合せる教科書なりといふべし

國學院講師萩野由之先生著

## 中等日本歴史

全二冊洋裝上製 正價一圓十錢郵稅廿錢

十有餘年開著者滿腔の熱血を瀉きたる者は本書なり本書は既に各府縣官私立學校十有餘の教科書となれり文章莊重典麗にして事實尤も豊富を主眼とし秩序井然讀者の裨益大なり

正七位内藤耻叟先生校閱 大宮宗司君校註

# 校註神皇正統記

全一冊大判美本 正價金廿五錢郵稅六錢

本書は有名なる兩朝の忠臣文武の兩朝北高津后親房卿の著は  
されたるものにして上神代より下南北朝に至るまで皇位の繼  
詔及神授受の大典を説き皇統の正統の明にして大義のあ  
る所を示したる誠に唯一の珍書なり其議論の正大にして筆鋒  
の鋭利なる我國の春秋なり古人のいへりしも決して虚言に  
はあらざるなり能く讀み味は鄙夫も立つべく儒夫も奪ひつ  
べしあらざれば世の臣子たる者必らず一讀せざるべからざるなり  
然るに世に傳はれる書は甚だ誤脱多かるにより今數本を校合  
して註をさへ加へたれば頗る良書となれり乞ふ一覽して其  
價值あるを知りたまへ

# 歴史教授法

全一冊大判美本 正價金拾五錢郵稅六錢

世間慣用の死法を一變して歴史科の材料を教授法を革新す  
るの慧眼を以て直往千里我國の史料を論し昔話假作物語  
類より神代史に進み遂に日本史料に推移すべき所以を  
論し更に教授法の方法を講明する如き更に歴史を直覺的  
ならしむるの法之を實演せしむる如き論著一點此科の教員  
たるべき資格に論定す英靈警活立論實據共に教育の骨を穿ち  
て神に入る

第一高等中學校教授小中村義象 第一高等中學校教授落合直文 兩先生合著

# 家庭歴史讀本

每編大家揮毫彩色密講挿入和裝美本 ●正價一冊拾二錢  
六冊前金六十七錢十二冊前金一圓廿五錢郵稅一冊四錢

- 第一編 能野の 露
- 第二編 泉野の 岳
- 第三編 小泉の 輪
- 第四編 鳥松の 嶺
- 第五編 青島の 血
- 第六編 日野の 御
- 第七編 藤原の 御
- 第八編 藤原の 御
- 第九編 宇治の 野
- 第十編 宇治の 野
- 第十一編 宇治の 野
- 第十二編 宇治の 野
- 第十三編 宇治の 野
- 第十四編 宇治の 野
- 第十五編 宇治の 野
- 第十六編 宇治の 野
- 第十七編 宇治の 野
- 第十八編 宇治の 野
- 第十九編 宇治の 野
- 第二十編 宇治の 野
- 第二十一編 宇治の 野
- 第二十二編 宇治の 野
- 第二十三編 宇治の 野
- 第二十四編 宇治の 野
- 第二十五編 宇治の 野
- 第二十六編 宇治の 野
- 第二十七編 宇治の 野
- 第二十八編 宇治の 野
- 第二十九編 宇治の 野
- 第三十編 宇治の 野
- 第三十一編 宇治の 野
- 第三十二編 宇治の 野
- 第三十三編 宇治の 野
- 第三十四編 宇治の 野
- 第三十五編 宇治の 野
- 第三十六編 宇治の 野
- 第三十七編 宇治の 野
- 第三十八編 宇治の 野
- 第三十九編 宇治の 野
- 第四十編 宇治の 野
- 第四十一編 宇治の 野
- 第四十二編 宇治の 野
- 第四十三編 宇治の 野
- 第四十四編 宇治の 野
- 第四十五編 宇治の 野
- 第四十六編 宇治の 野
- 第四十七編 宇治の 野
- 第四十八編 宇治の 野
- 第四十九編 宇治の 野
- 第五十編 宇治の 野
- 第五十一編 宇治の 野
- 第五十二編 宇治の 野
- 第五十三編 宇治の 野
- 第五十四編 宇治の 野
- 第五十五編 宇治の 野
- 第五十六編 宇治の 野
- 第五十七編 宇治の 野
- 第五十八編 宇治の 野
- 第五十九編 宇治の 野
- 第六十編 宇治の 野
- 第六十一編 宇治の 野
- 第六十二編 宇治の 野
- 第六十三編 宇治の 野
- 第六十四編 宇治の 野
- 第六十五編 宇治の 野
- 第六十六編 宇治の 野
- 第六十七編 宇治の 野
- 第六十八編 宇治の 野
- 第六十九編 宇治の 野
- 第七十編 宇治の 野
- 第七十一編 宇治の 野
- 第七十二編 宇治の 野
- 第七十三編 宇治の 野
- 第七十四編 宇治の 野
- 第七十五編 宇治の 野
- 第七十六編 宇治の 野
- 第七十七編 宇治の 野
- 第七十八編 宇治の 野
- 第七十九編 宇治の 野
- 第八十編 宇治の 野
- 第八十一編 宇治の 野
- 第八十二編 宇治の 野
- 第八十三編 宇治の 野
- 第八十四編 宇治の 野
- 第八十五編 宇治の 野
- 第八十六編 宇治の 野
- 第八十七編 宇治の 野
- 第八十八編 宇治の 野
- 第八十九編 宇治の 野
- 第九十編 宇治の 野
- 第九十一編 宇治の 野
- 第九十二編 宇治の 野
- 第九十三編 宇治の 野
- 第九十四編 宇治の 野
- 第九十五編 宇治の 野
- 第九十六編 宇治の 野
- 第九十七編 宇治の 野
- 第九十八編 宇治の 野
- 第九十九編 宇治の 野
- 第一百編 宇治の 野

# 支那文學全書

全部拾二卷 每卷讀切  
紙數五千頁以上

正價一冊(四百廿頁)金廿五錢  
六冊前金壹圓三拾五錢 ○全十  
二冊前金二圓五拾錢 ○郵稅一冊  
八錢 ●注文一切前金ノ

日本ハ東洋ノ古國ナリ其文學ノ特色特光實ニ見ルベキモノ少カラズ本館ニ日本文學全書ヲ發行シテ一タビ國文ノ精華ヲ  
煥發セシメシヨリ天下靡然相和シテ支那文學ノ興ルヲ勃如タリ支那モ亦東洋ノ舊國ナリ其文學亦頗ル特色ヲ具ヘ光彩燦然トシ  
テ今日本文學全書ニ支那文學全書ヲ以テシテ大ニ東洋ノ文學ヲ發揚スル所アラントス支那文學ニ志アル諸君請フ  
テ今日日本文學全書ニテ陸續購讀アラントシテ其講義ハ總テ現今諸大家が得意トセラルル所ヲ分擔セラレタレハ正確精到ナル  
左ノ目次ヲ照査シテ陸續購讀アラントシテ其講義ハ總テ現今諸大家が得意トセラルル所ヲ分擔セラレタレハ正確精到ナル  
敢テ喋々ヲ須タザル也

- 第一編 四書講義上卷(大學中庸論語)
- 第二編 四書講義下卷(孟子)
- 第三編 小學、孝、經、忠、子
- 第四編 老子、列子、孫子、吳子講義
- 第五編 韓非子講義
- 第六編 荀子講義
- 第七編 莊子講義
- 第八編 淮南子講義
- 第九編 唐詩選講義
- 第十編 文章軌範講義
- 第十一編 十八史畧講義
- 第十二編 支那文學史

正七位内藤耻叟先生講述 (八月五日發兌)

# 小學孝經忠經講義

全書三編

三書合本全一冊  
四百三十頁洋裝  
正價金二十五錢  
郵便稅 八錢

本書ハ朱子ノ小學孔安國ノ古文孝經馬融ノ忠經三書ノ講義ナリ四書ニ次クニ小學ヲ以テス修身ノ要道具ハレリ自ラ修ムル  
ハ孝ヲ本トス乃チ次クニ孝經ヲ以テス親ニ孝ナルヲ欲セハ君ニ忠ナラサルヘカラス仍テ繫クル忠經ヲ以テス漢學ノ大綱全  
ク學カル以下當ニ次クニ諸子百家ノ書ヲ以テスベシ學ヲ弘ムル所以ナリ

重要の問題を採み答案を附するも實に一千有餘題初め總國  
より三府畿内八道に及び丁寧反覆詳細に説明し勉めて學生  
受験の便益を謀れり當今此種の書少なからず雖も多くは繁  
雜其當を失して一も緊肯を得たる者なし本書此點に注意深し  
世人若し一たび之を繙閱せば宿霧忽ち消散して地理界の萬象  
一目瞭然の快を生ずべし

須永金三郎君著

### ● 受驗 物理 一千題

全三册洋裝  
正價拾二錢  
郵便税四錢

本書は在來の物理問答書と異なり全篇を總論液體氣體聲光  
電磁氣雜體質地試驗例題天文地文の數編に列し秩序を立て  
問答體に物理の全科を説盡せしものなれば受験志望者坐右  
重寶たるは勿論此學に志ある者には獨修の良師たる可き價  
あるものなり

須永金三郎君著

### ● 受驗 化學 一千題

全一册洋裝  
正價拾二錢  
郵便税四錢

在來の化學問答書と異り秩序を立て問答體に化學の  
全科を説盡せしものなれば受験志望者の爲に左右の重寶  
たるものなり

須永金三郎君著

本書前編より更に  
今上陛下の 詔勅宸翰 大凡百篇を奉  
復育の大詔より五箇條の御誓文尋で近年の教育勅語より  
朝院式の鳳詔等に至るまで昭代二十ヶ年間の給旨詳細  
く備はれり且つ毎篇發勅の御畧歴を附し又詔に對する常  
大臣の奏文添書等を附するを以て參考の資料となるや少  
らず一巻の小冊以て明治聖代の恩光を拜す 又後編  
に英名を纏る 祝辭文演說文 を蒐集して聯璧敷  
かせる雜考の 祝辭文演說文 近來稀有の珍典な  
り 社會の交際益々親密に到り起業與産愈々繁多なるに於  
ても必要缺く可からざる祝辭演說なり此際に臂り世人若し  
を携帶せば鬼に金棒も曾ならず請ふ速に一本を購求して  
を得られんことを希望す

岡村増太郎君著

### ● 初等 作文 一千題

全三册  
正價廿二錢  
郵便税八錢

著者教育界の經驗を以て小學兒童の爲めに最も卑近の例  
掲げ日用品食什器の事より仁義忠孝、理學、植物、動物、地

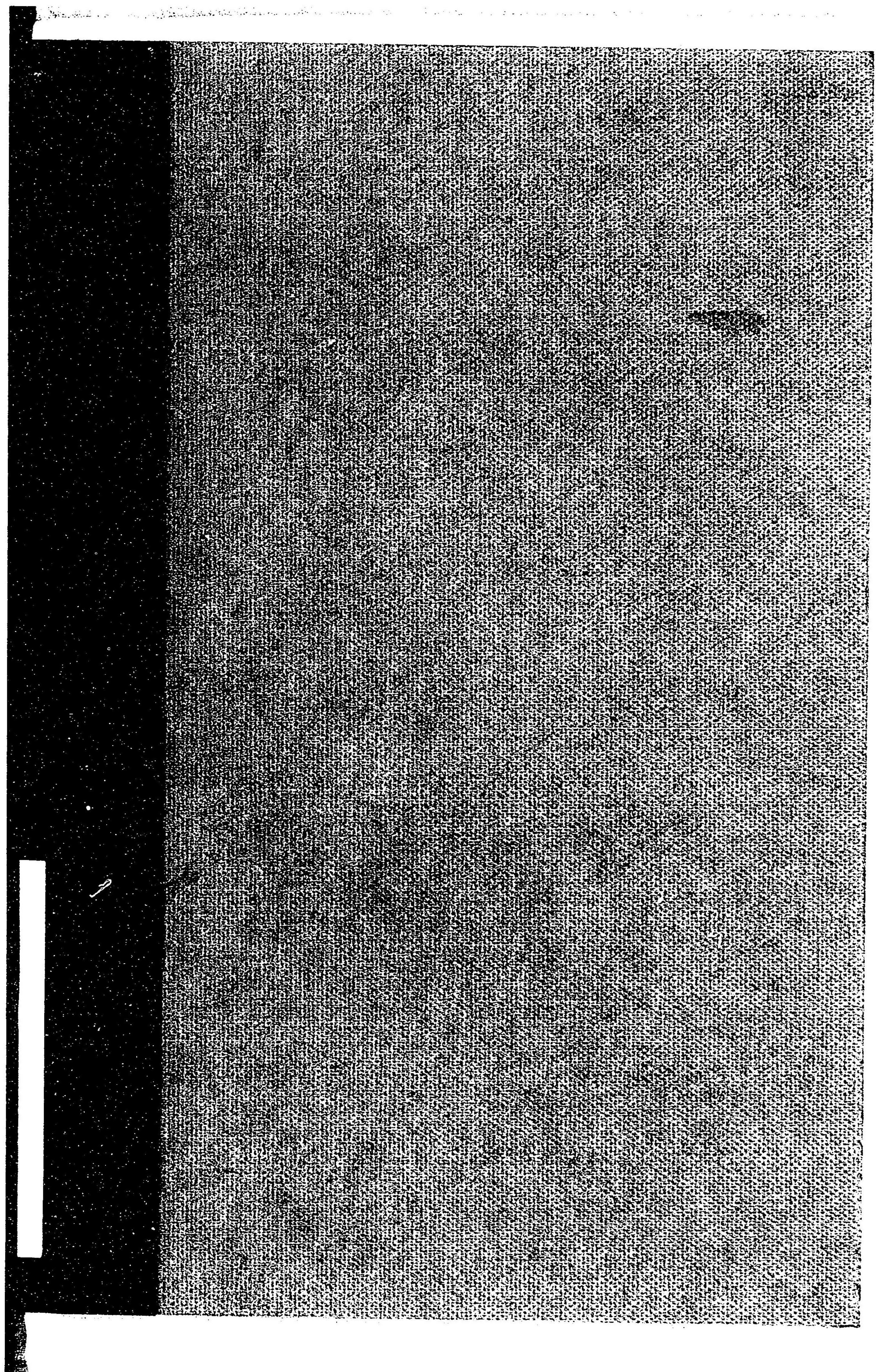
岡村増太郎君著

### ● 初等 作文 一千題

全三册  
正價廿二錢  
郵便税八錢

著者教育界の經驗を以て小學兒童の爲めに最も卑近の例  
掲げ日用品食什器の事より仁義忠孝、理學、植物、動物、地

岡村増太郎君著





特 20

36

受験問答 日本歴史一千題

国立国会図書館

049629-000-8

特 20-36

日本歴史一千題(受験問答)

内山 正如/著

M25

BEM-0332

